

*Instituto de Estudios Latinoamericanos  
Universidad Rikkyo*

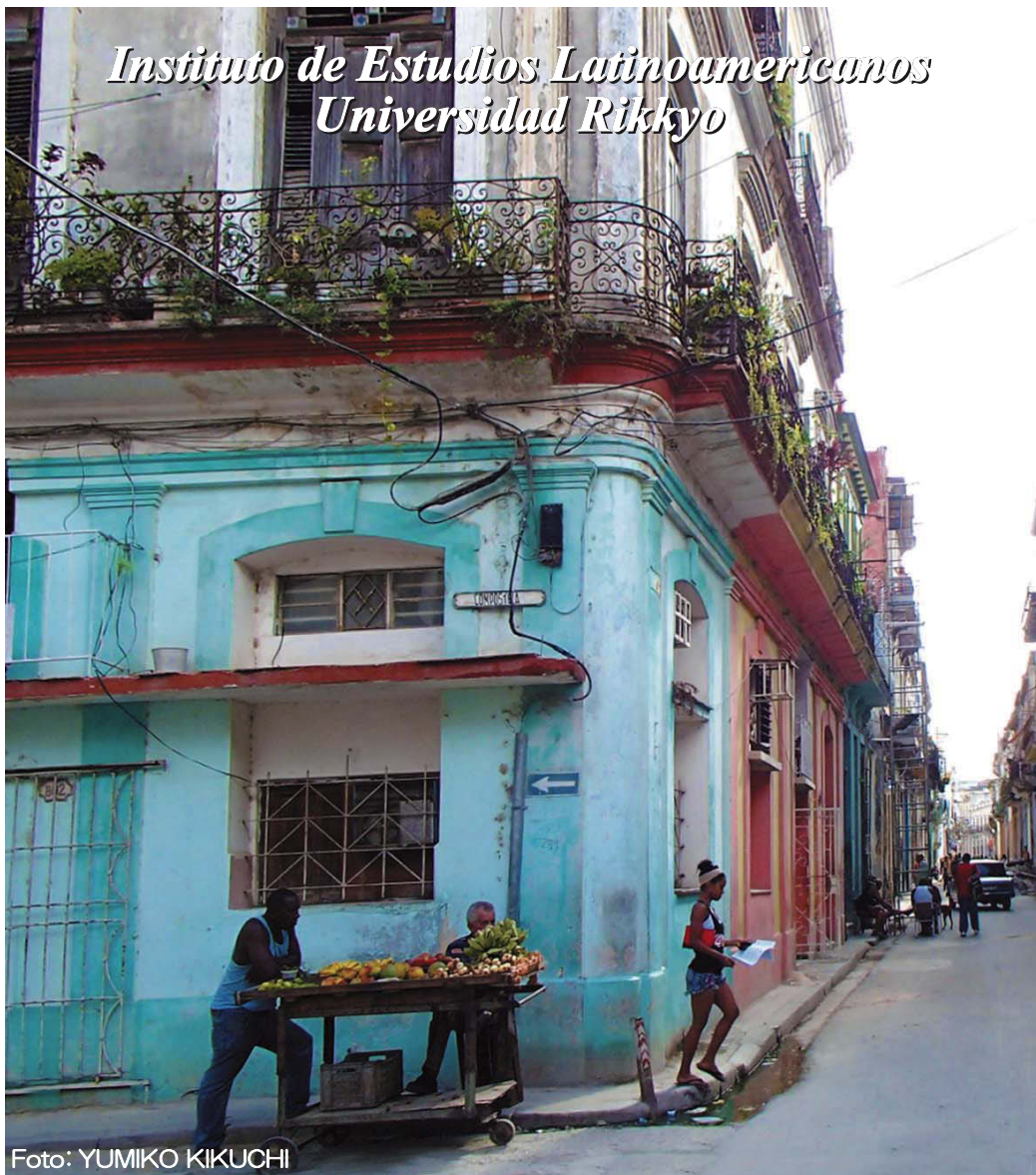


Foto: YUMIKO KIKUCHI

# ラテンアメリカ講座

*desde 1964*

# 2024

## ラテンアメリカ研究所

立教大学ラテンアメリカ研究所は、ラテンアメリカに関する総合的な研究と、その研究者および関連分野で活躍する人材の育成を目的とし、駐日ブラジル大使をはじめとする駐日中南米十数ヵ国の大・公使の賛同を得て、1963年に創設されました。

本研究所は、1964年4月に「ラテンアメリカ講座」を開設したほか、1973年から毎年『研究所報』を発行、さらに公開講演会やシンポジウムなど行事も頻繁に企画しています。本研究所が主催する公開講演会の中で特に高評を得ているのは、1969年以来毎年恒例の「現代のラテンアメリカ」で、講師に内外の研究者や著名な文化人などを招き、ラテンアメリカの文学、音楽、美術、建築、宗教から、政治、経済、社会、環境、先住民問題にいたるまで、広範なテーマを取り上げています。

また、本研究所はラテンアメリカに関する図書、文献、資料などを収集しています。なかでも特に文学・文化関係の和書、ブラジルの日本移民史料館などから購入した日系移民に関する図書や資料が充実しています。これらの資料を所蔵している立教大学図書館は、講座受講生も利用することができます。

このように、本研究所は、日本の大学教育に欠けていた社会教育の場を提供し始めた草分け的な存在です。今日では多くの大学が市民講座を設けていますが、ラテンアメリカについてじっくりと総合的に学ぶ特色ある講座を提供し続けているのは、本研究所のみと言っても過言ではありません。過去50年、ラテンアメリカに関わり活躍する講座卒業生を輩出してきました。引き続き、組織的な研究活動をさらに深化させ、ラテンアメリカ研究の質的向上とその社会還元に努めていく所存です。



### ラテンアメリカ研究所所員 (所員ABC順)

(2024年1月)

丸山 浩明 (研究所所長・文学部)	
佐藤 邦彦 (研究所副所長・異文化コミュニケーション学部)	
ドノヴァン, ハーバート A. (経営学部)	林 みどり (文学部)
石黒 広昭 (文学部)	金子 亜美 (異文化コミュニケーション学部)
松本 旬子 (外国語教育研究センター)	宮本 裕子 (現代心理学部)
泉水 浩隆 (外国語教育研究センター)	島村 暁代 (法学部)

## ラテンアメリカ講座

立教大学ラテンアメリカ講座は、1964年4月に開講された公開講座で、地域研究の場を提供する数少ない機会として、本学学生に限らず広く一般に公開されてきました。これは「開かれた大学」として大学教育を広く社会に提供することを早くから目指してきた本学の姿勢を示すもので、本年度は別記のとおり通年で12科目を対面（一部科目はミックス型）で開講します（感染拡大状況によりオンライン授業となる場合があります）。

なかでも、多岐にわたる分野を取り扱う「ラテンアメリカ論」や、文化的背景を考慮にいれた語学科目「ラテンアメリカスペイン語」は、ユニークな科目として注目され、毎年熱心な受講生を多数集めています。

ラテンアメリカ講座は通年制で、立教大学の学年暦に従って一年間学びます。そのため一般的な大学の公開講座に比べて長い時間をかけてじっくりとラテンアメリカについて学べます。受講生は、開講科目の中から選択受講し、年度末には成績表も送られます。

研究所報での研究発表の機会もあり、学内の図書館やパソコン教室の利用もできます。

これまでの受講者数は約1700名（複数年度にわたる重複は含まず）で、なかには内外の大学や研究機関で研究を継続したり、関連分野やラテンアメリカ諸国で活躍する方も数多く存在します。本学とサンパウロ大学との国際交流協定発効にともない、留学支援を大きな目的として、本学学生向けにはポルトガル語特別受講奨励制度を設けました（詳細は8頁参照）。こちらぜひ活用してください。

## 2024年度開講科目

	※	科 目	単位	講 師	曜日	時 間
講 義	㊦	ラテンアメリカ論Ⅰ(音楽)	4	石橋 純	土	13:25～15:05
	㊦	ラテンアメリカ論Ⅱ(政治)	4	磯田 沙織	土	10:45～12:25
	㊦	ラテンアメリカ文学	4	柳原 孝敦	土	8:50～10:30
語 学	㊦	ポルトガル語初級◆	4	神田 工	金	15:20～17:00
	㊦	ポルトガル語中級(会話とリスニング)	4	NAKAGAWA	土	15:20～17:00
	㊦	ポルトガル語上級	4	NAKAGAWA	土	13:25～15:05
	㊦	スペイン語初級Ⅰ	4	中西 智恵美	土	10:45～12:25
	㊦	スペイン語初級Ⅱ	4	SANTAMARIA	土	15:20～17:00
	㊦	スペイン語中級Ⅰ	4	佐藤 空子	土	8:50～10:30
	㊦	スペイン語中級Ⅱ	4	PARTIDA	土	13:25～15:05
	㊦	スペイン語講読(上級)	4	石橋 純	土	10:45～12:25
㊦	ラテンアメリカスペイン語(上級)	4	PARTIDA	土	15:20～17:00	

※ ㊦：対面授業 ㊦：ミックス型授業（対面とオンラインで同時に実施）

注1) ◆印科目は立教大学学部学生の全学共通科目「ポルトガル語(ブラジル)1・2」と共通のクラスとなります。それにともない、内容や設定レベルに若干の変更が生じる場合があります。

注2) 受講希望者数が定員（講義科目40名、語学科目30名）を超える場合には、抽選となります。

注3) 講師都合または天災等により休講になる場合があります。講師都合の場合は、別日に補講授業を検討します。

注4) 立教大学の卒業要件単位にはなりません。

## 2024年度 学 年 暦

	状況により変更・中止になる可能性があります。
ラテンアメリカ講座春学期授業	4月12日(金)～7月19日(金)
ラテンアメリカ講座秋学期授業	9月20日(金)～1月18日(土)
冬季休暇	12月24日(火)～1月6日(月)
年度末テストまたはレポート提出	1月上旬(科目により異なる)

## ラテンアメリカ講座の一年

状況により変更・中止になる可能性があります。

### ● 受講オリエンテーション

初めて受講する方には受講オリエンテーションに参加していただきます。これは、当講座の特色や受講の流れなどを、受講開始前に十分ご理解いただくためのものです。

### ● V-Campus ID発行

受講生にはV-Campus IDが発行されます。SPIRIT Gmailやオンラインでの教育支援システムCanvas LMSへのアクセス、学内のパソコン教室でのPC利用などに使用します。



### ● 春学期

受講希望者は、1年間受講する科目の申請などの受講手続きを経て、4月から授業に出席します。

### ● 図書館利用証

受講生には図書館利用証が発行され、立教大学図書館内での閲覧や貸出を受けることができます。夏季休暇中の貸出もあるので、是非ご利用ください。

### ● 春学期末テスト、レポート提出

授業へただ出席するだけでなく、レポートを課される場合があるのが本講座の特色です。翻訳、感想、自分の研究など講師の指示により様々な形式でレポートを提出します。

### ● 秋学期

講座が再開するとともに、さまざまなイベントが実施される時期です。中でも毎年恒例の公開講演会「現代のラテンアメリカ」は受講生にも大変好評です。受講生から研究所報への論文投稿も受け付けます。

### ● 年度末テスト、レポート提出、授業期間の終了

1月には、レポート提出または年度末テストが行われます。通年講座であるラテンアメリカ講座の授業期間が終了します。

### ● 成績表

2月下旬～3月初旬には研究所から講座の成績表が届き、一年間の学習の成果を確認することができます。



## ラテンアメリカ講座講師

(所属／専門分野または出身国 ABC順)

**石橋 純** (東京大学教授／ラテンアメリカ文化研究、文化人類学、民衆文化、ポピュラー音楽研究、音源／コンサートのプロデューサー経験あり)  
家電メーカーで12年マーケティング実務に携わっていました。ベネズエラ駐在歴8年。その後フリーランスのライター・翻訳者として働きつつ、学位取得。2000年から大学教員をしています。

**磯田 沙織** (神田外語大学外国語学部専任講師／ラテンアメリカ政治)  
パラグアイに2年、ペルーに1年滞在し、各国の大統領制、市民の政治参加等について調査してきました。講義ではこうした現地調査を踏まえて、ラテンアメリカの政治についてわかりやすく解説できるよう努めます。

**神田 工** (拓殖大学非常勤講師／ブラジル文学)  
ポルトガル語に少しでも関心のある方の参加を幅広く歓迎します。

**NAKAGAWA, Sonia** (NHK国際放送ポルトガル語アナウンサー／ブラジル出身)  
Vamos estudar a língua portuguesa e a cultura do Brasil com entusiasmo e descontração!  
「楽しく学ぶ」がモットーです。

**中西 智恵美** (立教大学ラテンアメリカ講座講師／法廷通訳)  
東京外国語大学スペイン語学科卒。テレビでスペイン語圏が出てくる番組(世界遺産や街の紹介など)を観るとまだまだ行きたい場所がたくさんあるなあとわくわくします。今年もわかりやすく楽しい授業を目指します。

**PARTIDA, Francisco** (立教大学ラテンアメリカ講座講師／メキシコ出身)  
Nació en México. Licenciado en Ciencias de la Comunicación. Diploma en Enseñanza del Español para extranjeros de la Universidad Nacional Autónoma de México. Profesor de español en Japón desde el año 1998. En 2015-16 participó en el programa de radio “Mainichi Supeingo” de NHK con el programa “Vivir es viajar”. En 2021 participó el programa de televisión de NHK “Español para el viaje”.

**SANTAMARIA, Teresa** (立教大学ラテンアメリカ講座講師／スペイン出身)  
“Hablando se entiende la gente”はスペイン語の諺。お互いに会話をして、理解していきましょう！という意味です。今年度は一緒にたくさん話をして、楽しみましょう!!

**佐藤 空子** (学習院大学非常勤講師／西語・英語通訳・翻訳家)  
皆さんからの疑問を通して単なる一方通行ではない、面白い発見を毎回楽しみに授業に挑んでいます。

**柳原 孝敦** (東京大学教授／現代ラテンアメリカ文学研究)  
著書：『テキストとしての都市 メキシコDF』(東京外国語大学出版会、2019)ほか。  
訳書：アレホ・カルペンティエール『この世の王国』(岩波文庫、2024近刊)ほか。

## 科目内容

授業計画や授業時間外の学習、その他科目についての詳細は  
講座Webサイト「開講科目・講師紹介」ページをご確認ください。



### ラテンアメリカ論Ⅰ ラテンアメリカの音楽と社会

講師：石橋 純

ミックス型授業(対面・オンライン)

土曜日3限 13:25～15:05

#### ● 授業の目標

音楽をてがかりにラテンアメリカ地域にアプローチします。サウンドや歌詞の背景にある文化と社会について論じます。

#### ● 授業の内容

春学期は、テーマを決めて、体系的にラテンアメリカ音楽を聴いていきます。まず総論としてラテンアメリカ音楽の特徴、スペイン・ポルトガル音楽との相違点、文化混淆と音楽などについて論じます。つぎにキューバを一例としてとりあげ、この島の伝統音楽が国際的に広まり、こんにちのサルサへと変貌し、グローバルマーケットに受容されるまでを論じます。中盤では「うた」に着目し、ロマンティック歌謡や社会批評の歌などを、地域横断で聴いていきます。このシリーズではとりわけ歌詞に着目します。タンゴやポレロなど、かつて日本で一世を風靡したラテン音楽についても、この回で触れることになります。秋学期は、さまざまな地域の音楽をとりあげ、論じます。講師の得意分野はベネズエラをはじめとするカリブ海域の音楽です。折にふれ、ゲスト講師や音楽家もお招きする予定です。

#### ● 教材

資料配布。参考図書 石橋純『熱帯の祭りと宴』柘植書房新社、2002。

#### ● 成績評価方法

毎回のリアクションペーパー(60%)。加えて春学期秋学期学期末に1度ずつ口頭発表(40%)。

#### ● 講師よりメッセージ

ラテンアメリカ愛好家は日本に数多くいますが、国やジャンルの枠を超えてこの地域の音楽を幅広く聴く人は少数です。授業を通じていろいろな音源を聴いていただくことで、ラミ音楽の楽しみがいっそう増すことでしょうか。

### ラテンアメリカ論Ⅱ ラテンアメリカ政治

講師：磯田 沙織

ミックス型授業(対面・オンライン)

土曜日2限 10:45～12:25

#### ● 授業の目標

ラテンアメリカの政治について学ぶことで、日本でも取り上げられるニュースの背景に迫ります。

#### ● 授業の内容

ラテンアメリカの政治史、政治体制、民政移管後の諸問題について、現地での体験を交えながらわかりやすく解説します。春学期は、ラテンアメリカに共通する政治の特徴を取り上げます。独立後に大統領制を採用したラテンアメリカでは、独立後の混乱を経て、寡頭支配体制、ポピュリストの台頭、軍事政権の誕生、民政移管等を経験しました。こうした共通点や、政治統合、経済統合等との関連を含め、広い視点からラテンアメリカの政治について論じます。秋学期は、ラテンアメリカの主要な国に焦点をあて、個別の事例分析を深めます。また時事解説を取り入れ、最新の政治動向を紹介します。

なお、昨年度まで好評だった、現地経験豊かな受講生による体験報告を実施したいと考えています。また春学期、秋学期ともに、ラテンアメリカ政治の専門家をゲスト・スピーカーとして招き、最新情勢を語って頂く予定です。

#### ● 教材

毎回、講義内容の概要をまとめた資料を配布します。

#### ● 成績評価方法

毎回のリアクションペーパー(60%)とレポート提出または授業での体験報告(40%)によって評価。

#### ● 講師よりメッセージ

本講義の内容は、日本ではあまりなじみのない学問分野ですが、政治は経済や社会等の様々な分野と関連しているため、ラテンアメリカについて包括的に理解する足がかりとなります。本講義を通じて、ラテンアメリカへの理解を深めましょう。

ラテンアメリカ文学 ガブリエル・ガルシア=マルケスを読む  
対面授業

講師：柳原 孝敦  
土曜日1限 8:50～10:30

● 授業の目標

ガブリエル・ガルシア=マルケスの小説『百年の孤独』（1967）は20世紀ラテンアメリカ文学を、そして世界文学を代表する作品である。この作品を中心にガルシア=マルケス作品を読む。

● 授業の内容

2024年には『百年の孤独』が待望久しく文庫化されるとのことなので、これを機に20世紀を代表するこの長篇小説を読む。基本的には邦訳を共通テキストとするが、スペイン語原文も参照する。また、これに先立ち同じ作者の『予告された殺人の記録』（1982）—および、状況次第ではいくつかの短篇小説—も読み、作者理解を立体化したい。

● 教材

ガブリエル・ガルシア=マルケス『百年の孤独』鼓直訳、新潮文庫、2024（予定）。  
同『予告された殺人の記録』野谷文昭訳、新潮文庫、1997。  
スペイン語原文、その他資料はコピーで配布。

● 成績評価方法

参加点50%、年度末の課題50%で評価します。

● 講師よりメッセージ

小説を読む行為は孤独なものです。それだけに、読書は独りよがりな解釈に陥ることもあります。同じテキストを読んだ者同士で議論することによって理解が深まったり、自分の気づかなかった視点に気づいたりします。読書体験が数倍に豊かになるわけです。事前にテキストを読んで、それについて議論することに積極的に参加してください。

ポルトガル語初級  
対面授業

講師：神田 工  
金曜日4限 15:20～17:00

● 授業の目標

ポルトガル語を初めて学ぶ人やある程度学習した人を主な対象として、基本的なレベルの文法を学び、読解、会話等に運用できるようになることを目指します。

● 受講レベル目安

初めてポルトガル語を学ぶ受講者も想定して、授業を進めています。スペイン語を既習であれば余裕を持って授業についていけるとと思いますが、スペイン語未習であっても、外国語の学習に意欲のある方であれば問題なく参加していただけるレベルです。

● 授業の内容

テキストにそって文法事項を解説し、プリント教材を使って文法の練習問題に取り組んだ後に、既出の文法事項、単語を使って、日常会話レベルの文の口頭での作文を行う、というのが授業の基本的な流れになります。一方通行的な知識・情報の伝達ではなく、受講者が学んだ事柄を実際に運用できるような、プラクティスにも時間を割く授業スタイルです。また、プリントを使った読解の練習も時々行います。

● 教材

香川正子『ニューエクスプレス+ ブラジルポルトガル語』（白水社、2018）

● 成績評価方法

出席と授業への参加度（50%）+最終回授業でのまとめテスト（50%）で評価します。

● 講師よりメッセージ

テキストの第1課からのスタートとなります。初めてポルトガル語を学ぶ人はもちろんのこと、基本からもう一度ポルトガル語を勉強しなおしたい人、忘れないために文法の基本を繰り返し学習したい人にも十分配慮しますので、奮って参加してください。

## ポルトガル語中級 会話とリスニング 対面授業

講師：NAKAGAWA, Sonia  
土曜日4限 15:20～17:00

### ● Objetivos

Aprimorar o uso de expressões, vocabulário e estruturas gramaticais em diálogos da vida cotidiana. 主な目的は、語彙を増やし、会話とリスニングのスキルアップを目指します。

### ● Nível de português

Este curso é destinado a pessoas que já possuem noções básicas do idioma, mas desejam treinar mais antes de ingressar no nível Avançado.

このコースは、ポルトガル語の基礎知識はあるが、上級レベルに進む前にライティングとスピーキングの両方を強化したい人を対象としています。

### ● Conteúdo

Prática oral e auditiva aliadas à redação e interpretação de texto.

総合的に幅広く学習します。(個々人のレベルに応じて、授業の説明は日本語でも行います)。

### ● Material

Materiais originais e recursos de multimídia.

オリジナルプリント、動画、音楽その他。

### ● Avaliação

授業への参加態度を60点、授業中の小テストや課題とプレゼンテーションを40点とし、合計100点で評価します。毎回の授業への参加が大事な要素となっています。

### ● Mensagem da professora

外国語の勉強に費やした努力の見返りは、必ずしも短期間で目に見えたり具体的になるわけではありませんが、最も重要なことは学びたいという気持ちを諦めないことです。楽しい授業になるようにお互い頑張りましょう。

## ポルトガル語上級 対面授業

講師：NAKAGAWA, Sonia  
土曜日3限 13:25～15:05

### ● Objetivos

Os principais objetivos deste curso são ampliar e reforçar o teto linguístico, estimular a fluência oral, aprimorar a redação e enriquecer o vocabulário.

### ● Nível de português

Este curso é destinado a todos aqueles que já dominam as estruturas básicas da língua portuguesa, mas desejam elevar seu nível de conhecimento para se comunicar fluentemente tanto em situações do cotidiano como em ambiente corporativo e encontros sociais.

### ● Conteúdo

O enfoque será o aprofundamento dos pormenores da língua portuguesa e a apresentação de aspectos da cultura brasileira. Faremos uso de temas e tópicos em destaque no Brasil e no mundo para promover o debate e a troca de ideias. (Durante a aula o uso de japonês será restrito ao mínimo.)

### ● Material

Materiais originais e recursos de multimídia.

### ● Avaliação

Participação nas aulas equivale a 60% + testes de checagem e apresentações orais que somam 40% totalizando 100%. A presença na aulas é muito importante.

### ● Mensagem da professora

Manter a motivação e não sucumbir ao comodismo são os maiores desafios para avançar no estudo de uma língua estrangeira, principalmente quando já se domina o nível básico e intermediário. O céu é o limite, vamos continuar nessa jornada!

## 本学学生向け「ポルトガル語特別受講奨励制度」について(下記対象科目の受講料を免除)

本学とブラジル・サンパウロ大学との大学間交流協定の締結を記念して設立。本学学生のサンパウロ大学などへの海外留学支援を大きな目的とする(ただし必ずしも留学を義務づけるものではない)。

【対象科目】当講座土曜日開講 (1) ポルトガル語中級(会話とリスニング) (2) ポルトガル語上級  
特別受講奨励生の特典、申請資格、申請書類、選考方法、採用人数、受講条件、申請書提出先などの詳細は、当講座のウェブサイトを参照すること。 <https://www.rikkyo.ac.jp/research/institute/ilas/koza.html>



## スペイン語初級Ⅰ 初歩から学ぶスペイン語 対面授業

講師：中西 智恵美  
土曜日2限 10:45~12:25

### ● 授業の目標

スペイン語を初めて習う方が対象の講座です。動詞の活用（現在形・過去形・未来形等）や基本的な文の作り方を学び、簡単な日常会話ができるレベルを目指します。

### ● 受講レベル目安

今までスペイン語を勉強されたことがない方。「少しかじったことはあるが再度しっかり基礎固めをしたい」という方や、リピーターの方も大歓迎です。

### ● 授業の内容

スペイン語の基本を学びます。動詞の活用を中心に基礎的な文法事項を学習し、練習問題と簡単な会話練習で力をつけていきます。例文は旅行などですぐに使えるものを中心にします。チリ、メキシコ、ペルーなどでの体験談も交えながら、楽しく授業を進めていきます。

### ● 教材

1. 木村琢也 *¡Así suena!* 『響く音！ スペイン語』（朝日出版社、2019）
2. オリジナルプリント等

### ● 成績評価方法

「出席80%：授業参加度・宿題提出等20%」をベースとします。

### ● 講師よりメッセージ

教科書のほかにも練習問題を沢山出しますので、しっかり毎回の授業の予習・復習をしてください。また、わからない点はどんどん質問してください。

## スペイン語初級Ⅱ 対面授業

講師：SANTAMARIA, Teresa  
土曜日4限 15:20~17:00

### ● 授業の目標

本授業は、スペイン語での日常のコミュニケーションができるようになることを目標とします。様々な話題に合わせて、自分の考えを伝えることを大切にする授業です。

### ● 受講レベル目安

基本的な文法は習得済みであるが、今のところ会話する機会が無く、この授業を機に改めてスペイン語会話を学びたい方。

### ● 授業の内容

会話主体の授業です。映像、配布物、ゲームなどを通じて会話をし、スペイン語を習得していきます。楽しく考えや意見を交換し、話しやすく、リラックスできる雰囲気を目指します。会話重視ですが、文法学習も行いながら、伝わるスペイン語を学んでいきます。読む力、書く力は宿題を通じて伸ばしていきます。少しずつでもみなさんの発言を期待しています。

### ● 教材

*FRECUENCIAS A1 - LIBRO DEL ESTUDIANTE* (Edinumen, 2020)

教材費(4,703円)は受講料と一緒にお振込みいただきます。

### ● 成績評価方法

出席(50%)、宿題(20%)、授業への参加(30%)で評価します。

### ● 講師よりメッセージ

会話を楽しむことを目標とする授業です。文法も大切ですが、考えを伝えることを授業ではみなさんと学習していきます。



## スペイン語中級 I 対面授業

講師：佐藤 空子  
土曜日1限 8:50～10:30

### ● 授業の目標

接続法を一年間かけてじっくり学びます。用法、使い分け、そして時制を細かく見ていき、練習問題も多くこなしていきます。

### ● 受講レベル目安

初級文法は勿論のこと、直説法の各時制がしっかり理解できて使用できれば、その次の段階としてすんなりと接続法に入って行かれると思います。授業内で初級の復習も入れていきます。

### ● 授業の内容

主観的な法である接続法を使えるようにすることで、表現の幅を広げて行きます。そのためにも授業内でもプリントを使い、多くの例文を丁寧に読んでいきます。テキストだけでは決して触れることのできないラテンアメリカの文化や言葉の背景にある文化も折々で紹介してまいります。進行度合いは受講生のレベルによって変化します。

### ● 教材

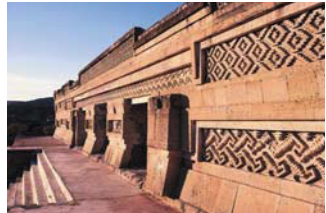
スペイン語教材研究会 *Entre amigos 2* -2ª edición-『総合スペイン語コース中級改訂版』(朝日出版社、2015)

### ● 成績評価方法

出席50%、予習／課題提出／授業への参加50%

### ● 講師よりメッセージ

受講生がランダムに投げ掛けてくださる質問が楽しみです。初めての方も最初は躊躇なさりながらも徐々にその輪に加わってくださるのですが、そこから生まれるキャッチボールを通じ世界が広がって行くことも多く、単なる「座学」ではない講座になっています。



## スペイン語中級 II 対面授業

講師：PARTIDA, Francisco  
土曜日3限 13:25～15:05

### ● Objetivos

Conocer mejor algunos aspectos socioculturales del mundo hispano. Desarrollar las destrezas básicas (comprensión lectora y auditiva, expresión e interacción escrita y oral).

### ● Nivel de español

Comprender los puntos principales de textos, escritos, orales y auditivos relacionados con el trabajo, el estudio o la vida cotidiana. Asimismo, poder producir textos sencillos y coherentes.

### ● Contenido

En esta clase trataremos aspectos de la vida cotidiana, las condiciones de vida, las relaciones personales, los valores y creencias del mundo hispánico, con los cuales los alumnos podrán percibir la diversidad cultural y lingüística relacionada con Latinoamérica y España.

### ● Material

*Todas las voces: curso de cultura y civilización – Nivel A1-A2* (difusión, 2012)

Material de apoyo preparado por el profesor sobre el tema que estudiemos.

### ● Evaluación

Se valorará la asistencia, la participación y colaboración en clase (60%). Al final de cada semestre se hará un trabajo sobre un tema del texto o de su interés, el cual se expondrá a la clase (se podrá usar PowerPoint, Word, fotos, copias, etc.) (40%).

### ● Mensaje de la profesor

Vamos a practicar la habilidad de comunicación, así como también nos abra una nueva perspectiva hacia la cultura del mundo hispánico.

**スペイン語講読** スペイン語を読む、スペイン語で読む、スペイン語を味わう 講師：石橋 純  
対面授業 土曜日2限 10：45～12：25

● **授業の目標**

スペイン語学習最後の壁は長文読解です。主語が明示されず、語順が柔軟であるがゆえの難所です。この授業では、多様な文章を素材に読解のコツを伝授します。

● **受講レベル目安**

最上級者を対象としたスペイン語講読クラスです。接続法過去までの文法を学習し終えた方あるいは当講座の中級スペイン語を履修し終えた学習者を対象としています。大学等で初級スペイン語を習得し、その後学習を継続せず現在に至る方は、いきなりこの授業を選ばず、1年間中級を受講して後にこのレベルに挑んでください。

● **授業の内容**

ベネズエラを代表する歴史家マヌエル・カバジェロ (1931－2010) によるベネズエラ史ブックレットを読みます。スペイン語話者であれば高校生程度の教養で読める平易明晰な文章。

● **教材**

Manuel Caballero. *De la “Pequeña Venecia” a la “Gran Venezuela” Una historia de cinco siglos*. Monte Avila Editores, 1996.

前書きと第1章は事務局から入手できます。授業進行に合わせて随時配布。

● **成績評価方法**

出席10%、訳読発表50%、期末課題40%

● **講師よりメッセージ**

スペイン語読解を修練する段階(スペイン語を読む)から、スペイン語で自由に情報収集できる段階(スペイン語で読む)への飛躍を旨とします。名文と呼べる散文や韻文を味わう楽しみも開かれることでしょう。

**ラテンアメリカスペイン語** Recorrido cultural por Latinoamérica 講師：PARTIDA, Francisco  
対面授業 土曜日4限 15：20～17：00

● **Objetivos**

Ampliar los conocimientos culturales del mundo hispánico, así como profundizar y avanzar en el conocimiento de la lengua. Comprender e interpretar cualquier tipo de textos en español (orales, escritos, auditivos y de información audiovisual).

● **Nivel de español**

Es necesario conocer suficiente gramática y vocabulario para entender los materiales que se usarán. Se requiere voluntad para expresarse e interactuar oralmente durante la clase.

● **Contenido**

Al comienzo se comentará alguna noticia de actualidad o relevante. Seguidamente se desarrollará el tema de la clase. Se seguirá el orden del texto, pero se podrá adaptar a las necesidades del grupo. En cada clase se necesita cooperar con los compañeros de la clase para trabajar en parejas o en grupo.

● **Material**

*El mundo en español, lecturas de cultura y civilización – Nivel B* (HABLA CON EÑE, 2019)

Material de apoyo preparado por el profesor sobre el tema que estudiemos u otro tema de interés.

● **Evaluación**

Asistencia y participación activa en la clase (60%). Al final de cada semestre se hará un trabajo sobre un tema del texto o de su interés, el cual se expondrá a la clase (se podrá usar PowerPoint, PDF, Word, fotos, copias, etc.) (40%).

● **Mensaje del profesor**

Se tratará de hacer una clase activa, para esto es necesario que todos traten de participar en los temas de discusión y que preparen alguna noticia que les parezca interesante para compartir al inicio de clase. Dice el dicho “equivocarse es de humanos, rectificar es de sabios”.

# 2024年度 ラテンアメリカ講座出願要項

## I. 受講資格

- ・高等学校卒業以上（もしくはそれと同等の能力を有する方）。
  - ・池袋キャンパスでの対面授業に出席できる方（ミックス型授業科目\*除く）、ただし状況によってはオンライン授業に切り替わることがあるため、オンラインでも受講できる方とします。
- 次ページの〈オンライン受講に関する注意事項〉をご確認ください。
- ※2024年度については「ラテンアメリカ論Ⅰ（音楽）」および「ラテンアメリカ論Ⅱ（政治）」のみミックス型授業（対面とオンラインで同時に実施）とします。この2科目に限り通年でオンライン受講が可能です。遠方の方も受講いただけます。
- ・過去に本講座受講経験のある方は、Ⅱ. 出願手続、Ⅲ. 受講オリエンテーションは不要です。ただし、長期間受講していない場合は、できるだけ事務局に連絡の上受講オリエンテーションを受けてください。
  - ・必ず14～15頁の【受講に関する注意事項】を確認、同意の上で、受講してください。

## Ⅱ. 出願手続

初めて出願する方は、受講願書を以下のいずれかの方法でラテンアメリカ研究所事務局に提出し、必ずⅢ. 受講オリエンテーションを受けてください。

【受講願書の提出】 **出願締切：3月25日（月）必着**

下記URLまたは右のQRコードから出願してください。

<https://ws.formzu.net/dist/S395754339/>

※Web出願できない方は、事務局までご相談ください。



## Ⅲ. 受講オリエンテーション

オンラインで実施します。受講願書受付後にメールでオリエンテーション動画のURLと作文などご記入いただく用紙をお送りします。**3月31日（日）までに**動画を視聴し、記入用紙を事務局にメールでお送りください。

## Ⅳ. 科目申請

受講を希望する科目の申請は、オンラインで受け付けます。科目申請フォーム（初めて出願する方には、受講オリエンテーション記入用紙提出後にご案内します）から、**3月15日（金）～4月5日（金）**の期間内に申請してください。

- ・受講料割引を希望する場合は、4月8日（月）までに次の証明書を提出してください。  
本学卒業生：卒業証明書（原本）初回のみ  
他大学学生：2024年4月1日以降の在籍証明書（原本）\*  
本学在学学生：学生証コピーをメールで送付（後日原本を提示していただきます）
  - ・**受講希望者数が定員（講義科目40名、語学科目30名）を超える場合には、抽選となります。**
  - ・本学学部学生が別表（p.3）◆印科目「ポルトガル語初級」を履修希望の場合は、本講座では科目申請せず、各学期授業開始前に大学の履修登録システムで全学共通科目「ポルトガル語（ブラジル）1・2」を登録してください（講座の受講料は不要）。
- ※証明書（原本）の郵送が締切日までに間に合わない場合は、事前に事務局までご連絡ください。

## V. 受講料振込

**4月上旬に事務局から受講確定科目と振込口座・金額の案内を郵送します。**

※確定した科目の受講キャンセル・科目変更を希望される方は、**4月15日（月）までに事務局にご連絡ください。ただし、受講料振込後の返金はできませんのでご注意ください。**詳細は【受講に関する注意事項】をご参照ください。

振込期間 4月10日（水）～4月17日（水）（厳守）

〈受講料〉	一般	本学卒業生／他大学生	本学在学学生*
登録料（単年度有効）	¥15,000	¥10,000	¥5,000
授業料（1科目通年）	¥25,000	¥20,000	¥20,000

\*ポルトガル語特別受講奨励制度適用者には優遇措置があります（p.8）。

## 〈オンライン受講に関する注意事項〉

1. PC、または、タブレット端末等を利用して受講する必要があります。カメラ、マイク・スピーカー（ヘッドフォンなど）が搭載もしくは後付けされたものを準備してください。なお、画面の大きさや機能に制限がありますが、スマートフォンでも受講可能です。また、安定したインターネット回線及びZoomアプリインストールの準備が必要になります。教材（プリント等）はインターネット上でのファイルの提供となりますので、プリントアウトしてご覧になりたい方は各自プリンターを準備するか、コンビニ等の印刷サービスをご利用ください。ご自身で受講環境を整えてください。なお、Zoomは無料プランで受講可能ですが、通信利用料金は別途発生します。各自ご負担ください。
2. 事前に必ず、下記のZoom公式サイトで「ミーティングテストに参加」し、Zoomが利用できることを確認してください。 <https://zoom.us/test/>
3. ラテンアメリカ研究所は各自のPCやタブレット等の操作、環境設定に関するサポートはいたしかねますので予めご了承ください。
4. 受講生側のオンライン授業映像の撮影、録画、録音は固くお断りいたします。
5. 講座での配布教材等を、受講目的以外で利用することは固くお断りいたします。
6. 講座の視聴URL、パスワード等を第三者と共有することは固くお断りいたします。
7. 受講は受講登録者本人のみに限ります。非登録者を含む複数人での受講は固くお断りいたします。
8. 4～7にあたる行為が発覚した場合には、それ以降の受講資格を取り消します。

問合せ：立教大学ラテンアメリカ研究所事務局

TEL 03-3985-2578 FAX 03-3985-0279 E-mail: [late-ken@rikkyo.ac.jp](mailto:late-ken@rikkyo.ac.jp)

## ラテンアメリカ研究所 Web サイト紹介

- 研究所 <https://www.rikkyo.ac.jp/research/institute/llas/>  
〈研究所概要〉〈講演会情報〉〈研究所からのお知らせ〉をご覧ください。  
ラテンアメリカ研究所が主催する講演会はいずれも無料です。  
受講生には優先的にお知らせします。



- ラテンアメリカ講座  
<https://www.rikkyo.ac.jp/research/institute/llas/koza.html>  
研究所Webサイトの「ラテンアメリカ講座」からも移動できます。  
〈講座概要〉〈受講生へのお知らせ〉〈募集要項〉などをご覧ください。



## 公式ブログ & X 紹介

- ブログ「立教大学ラテンアメリカ研究所便り」  
<https://late-ken-rikkyo.blogspot.com/>  
ラテンアメリカ研究所Webサイト下部のリンクから、ブログをご覧ください。  
主にラテンアメリカ関係の情報（講演会、映画、コンサート）や講座のイベントが掲載されています。



- X (旧 Twitter) @Lateken\_Rikkyo  
当研究所が開催するイベントやラテンアメリカ講座の情報を発信します。



## 【受講に関する注意事項】

必ずこの「受講に関する注意事項」を確認、同意の上で、ラテンアメリカ講座にお申し込みください。

### 1. 受講の心構え

- ・ラテンアメリカ講座は、立教大学がラテンアメリカ研究、文化交流、教育活動等を促進するために設立したものです。本講座受講生は講座の目的を十分に理解し、理性と良識を持って受講されることを望みます。講師や他の受講生の迷惑となる行為、講座の進行を妨げる行為など、受講生としてふさわしくないと判断される行為を行った場合は、受講をお断りすることがあります。

### 2. 受講オリエンテーション

- ・初めて本講座を受講する方は、受講願書をラテンアメリカ研究所事務局に提出し、必ず受講オリエンテーションを受けてください。
- ・過去に本講座受講経験のある方は、出願手続および受講オリエンテーションへの参加は必要ありません。ただし、長期間受講していない場合は、できるだけ事務局に連絡の上受講オリエンテーションを受けてください。

### 3. 受講生証

- ・本講座受講生証は、受講料振込確認後、本学池袋キャンパスにてお渡します。受講生証は、授業時や大学の施設を利用する際には必ず携帯してください。

### 4. 開講科目

- ・ラテンアメリカ講座では、多岐にわたる分野を取り扱う講義科目、ポルトガル語とスペイン語の語学科目を開講しています。講座案内記載の科目内容は受講生の習熟度等に合わせ変更することがあります。
- ・個々の授業内容の充実、多様化を図り、教育効果を高めるためにゲスト・スピーカーを招へいすることがあります。
- ・講座時間は1回100分を基本とします。講座回数は、年間25～26回程度を標準としますが、講座により異なりますので「講座案内」パンフレットの学年暦や「ラテンアメリカ講座年間予定表」で確認してください。

### 5. 成績・単位

- ・一定の成績を収めると所定の単位(通年で講義科目4単位、語学科目4単位)が付与されます。ラテンアメリカ講座独自の制度ですので、大学の学部・大学院における正規課程の単位としての認定はできません。
- ・成績・取得単位数は、年度末にお送りする「成績通知表」で確認できます。

### 6. 科目申請

- ・科目申請は、科目申請期間内に原則として「科目申請Webフォーム」からの申し込みとします。「科目申請Webフォーム」から申し込みできない方は、ラテンアメリカ研究所事務局(late-ken@rikkyo.ac.jp / 03-3985-2578)まで早めにご連絡ください。
- ・科目申請後に申請内容のコピーメールが自動送信されます。確認の上、申請内容に間違いがあった場合や、申請科目を変更する場合は、速やかに研究所事務局までご連絡ください。
- ・科目申請をしても、まだ受講科目は確定していません。科目申請締切後、定員を超える申請があった科目は抽選を行います(先着順ではありませんのでご注意ください)。落選された方のみ事務局からご連絡をいたします。その際、定員に余裕のある科目に変更することもできます。

### 7. 受講料振込

- ・受講科目確定後、研究所事務局から「受講科目確定のお知らせ及び受講料振込のご案内」を郵送いたします。振込期間内に振込をお願いします。
- ・振込期限は厳守してください。  
受講料のお支払いがないことをもって受講キャンセルとはみなしません。確定した科目の受講をキャンセルしたい場合は8.の手続きをお願いします。

※受講料振込後の返金は一切お受けできません。

## 8. 確定科目の受講キャンセル・科目変更

- ・やむを得ない理由で確定した科目の受講をキャンセルしたい場合、もしくはレベルが不都合だと思った場合は、「確定科目の受講キャンセル・科目変更期限」までに研究所事務局までメールでご相談ください。事務局から折り返し連絡をいたします。「確定科目の受講キャンセル・科目変更期限」後のご相談は一切お受けできません。
- ・科目変更は、定員に達していない科目へ1回のみ変更が可能です。

※受講料振込後のキャンセルの場合、受講料の返金はできませんのでご注意ください。

## 9. テキスト

- ・各科目のテキストについては『講座案内』パンフレットおよび「受講科目確定のお知らせ及び受講料振込のご案内」の裏面に掲載しています。
- ・受講料にテキスト代は含まれません。テキストを使用する科目を受講する場合は、受講科目確定後に各自購入してください。
- ・テキストは、一部科目を除き研究所事務局で閲覧することができます。閲覧希望の方は事前に研究所事務局までご連絡ください。

## 10. 受講

- ・受講生以外の方の同伴や見学はお断りしています。
- ・講師が特別に許可した場合を除き、授業の写真撮影、ビデオ撮影、録音はお断りしています。
- ・受講にあたってはご自身の責任において健康状態に十分留意してください。授業中、健康状態に変化があった場合には速やかに担当講師に申し出てください。症状により受講を控えていただく場合があります。なお、この場合も受講料の返金はできません。
- ・講座参加中の事故につきましては、本講座に瑕疵または過失のある場合を除き一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・貴重品は必ず手元に置き、盗難・紛失には十分ご注意ください。本講座では一切の責任を負いかねます。
- ・大学の施設・設備等は大切に使用してください。意図的破壊については、弁済を求めることがあります。

## 11. 休講・補講

- ・天候不良や担当講師の都合等、その他やむを得ない事情により授業を休講とすることがあります。休講とする場合は「講座Webサイト」<https://www.rikkyo.ac.jp/research/institute/ilas/koza.html>でご案内いたします。
- ・講師の体調不良など授業当日の急な休講は、講座Webサイトのご案内に加え、登録メールアドレスへメールでもご連絡します。なお、天災等不測の事態の場合は上記の対応をいたしかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・休講となった場合、原則として、補講を行います。補講の日時は通常の授業日時と異なる場合がありますのでご了承ください。補講予定は講座Webサイトで確認してください。
- ・天災による休講の場合、暦や施設の関係で補講ができないこともあります。
- ・休講および補講の際に生じた交通費等の損害は補償いたしかねますのでご了承ください。

## 12. 教室外授業

- ・科目によっては、教室外で授業を実施することがあります。その際、保険代理店に団体保険加入手続きに必要な個人情報を提供いたしますのでご了承ください。詳細につきましては、教室外授業実施決定後にご案内します。

## 13. 図書館の利用

- ・本講座の受講生には、立教大学図書館を利用するための「図書館利用証」を発行いたします（本学学生を除く）。図書館利用証は受講終了後、必ず研究所事務局まで返却してください。継続受講の場合も、手続きのため一旦返却が必要です。

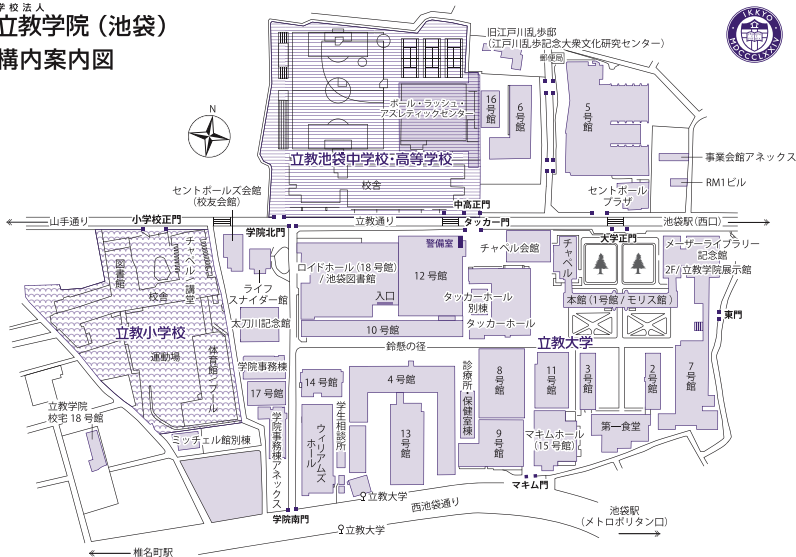
## 14. V-Campus ID

- ・本講座の受講生には、V-Campus IDが付与されます（本学学生を除く）。V-Campus IDは、SPIRIT（学内者サイト）へのアクセス、学内Wi-Fiや学内パソコンの利用等に必要です。

## 15. 個人情報の取り扱いについて

- ・本講座が収集した個人情報は、講座の運営およびラテンアメリカ研究所に関する行催事のご案内目的のみ利用し、その他の目的には一切利用しません。
- ・連絡先等の変更があった場合は、速やかに事務局までご連絡ください。
- ・講師や受講生の連絡先など、個人情報に関する問い合わせには、一切お答えできません。

学校法人  
立教学院（池袋）  
構内案内図



立教大学 **ラテンアメリカ研究所**

〒171-8501 東京都豊島区西池袋3丁目34番1号

TEL 03-3985-2578 FAX 03-3985-0279

<https://www.rikkyo.ac.jp/research/institute/ilas/late-ken@rikkyo.ac.jp>

立教大学池袋キャンパス12号館2階  
(事務局／総合研究センター事務室内)